

平成30年度 杉並区立四宮小学校 学校経営計画

子どもにとって「学び甲斐のある学校」、教職員にとって「働き甲斐のある学校」を目指す。

杉並区教育ビジョン2012

今後10年を見据えた杉並の目指す教育
「共に学び共に支え共に創る杉並の教育」

目指す人間像

- 夢に向かい志をもって、自らの道を拓く人
- 「かかわり」を大切にし、地域・社会・自然と共に生きる人

育みたい力

- 1 自分の持ち味を見付け、自ら学び、考え、判断し、行動する力
- 2 変化の時代をとらえ、たくましく生きる心と体の力
- 3 豊かな感性をもち、感動を分かち合う力
- 4 他者の存在を認め、多様な関係を結ぶ力
- 5 持続可能な社会を目指し、次代を共に支えていく力

四宮小の教育目標

じょうぶな子

◎かんがえる子(重点教育目標)

すすんでする子

おもいやりのある子

人権尊重の精神を基調とし、真理と平和を追求し、自分の良さを見付け、自ら学び、考え、判断し、行動できる力をもった人間性豊かな児童を育成する。杉並区教育ビジョン2012の実現を図るため、「昨日より今日、今日より明日輝く子ども」の育成を目指す。

学校経営の基本方針

- ◎ 子どもが安心して通うことができる安全な学校にする。 (体罰ゼロ、いじめゼロ、事故ゼロ)
- ◎ 昨日より今日 今日より明日 輝く四宮の子 (子どもを日々成長させる)
 - 1 人権尊重教育の推進 いじめを許さない。相互尊重。道徳教育の充実・推進。挨拶。
 - 2 確かな学力の定着と向上 学習規律。指導方法の工夫改善。学び残しぼり。ICT活用。読書活動推進。家庭学習習慣。
 - 3 体力の向上と丈夫な心と体づくり 年間を通した計画的活動。運動の習慣化。保健教育の推進。コオーディネーショントレーニング地域拠点校。
 - 4 特別支援教育の推進 特別支援教室開設。個別指導計画。SC活用。
 - 5 保幼小中連携教育の推進 小一・中一プロブレム解消。9年カリキュラム。
 - 6 地域に開かれた学校づくり (CS) 学校・地域・保護者の連携。CSの実現。共働。土曜授業。土曜日学校(おやじの会)。盆踊り。フェスティバル。教育ボランティア(学習、朝、図書、環境)。よつばっ子くらぶ。

安全・安心な学校

- ・心の安全・安心 人権尊重の精神。いじめゼロ。道徳教育の充実。
- ・環境安全 施設管理。安全点検。複数の目で確認。体育用具、固定遊具。使用方法。
- ・身体の安全 安全指導。暴力・体罰ゼロ。事故ゼロ。

※児童の安全を最優先とし、教職員の危険予知・察知・対応能力の向上を図る。

★普通救命講習の受講を推進し、全教職員の技能認定

主体的・対話的で深い学びの実現

- ・全ての授業で主体的・対話的な実践を行う。
- ・ゆとりある授業時数を確保する。
- ・深い学びとするための基礎的・基本的な知識の習得を大切にする。
- ・校内研究の充実・推進を図り、全教員の指導力向上を目指す。

外国語教育の推進、授業時数の確保

- ・ゆとりある授業時数を確保し、外国語活動、英語科の授業を確実に行う。
- ・深い学びとするための基礎的・基本的な知識の習得を大切にする。
- ・教員研修を推進し、全教員の英語・外国語活動の指導力向上を図る。
- ・移行期間終了を見据えた計画に基づいた授業を展開する。